

I. 研究分野

都市・地域経済学、ネットワークの経済学、応用ゲーム理論、公共経済学

II. 研究分野（英語表記）

Urban and regional economics, Economics of networks, Applied game theory, Public economics

III. 修士課程学生の履修要件

中級以上のミクロ経済学と計量経済学を B 以上の成績で履修済みであること。また、中級以上のマクロ経済学と 400 番台以上の都市・地域経済学および／もしくはその隣接分野（国際貿易、公共経済学など）の授業を履修済みであることが望ましい。

また、修士論文で実証分析を行う予定の者は、原則として、論文執筆に必要な分析手法の理解と実践力を確かなものとするため、火曜 4 限に開講される担当教員の学部ゼミに出席すること（前期のみ）。なお、学部ゼミではグループワークを実施するため、リーダーとして参加してもらうことになる。

※2026 年度については、担当教員がサバティカルを取得するため学部ゼミは開講されず、学部ゼミへの参加は求めない。また、原則として、2025 年度に大学院ゼミを聴講していた者のみを選考対象とする。

IV. 選考期間および方法

修士課程については 1 年次の年度末。希望者は 3 月 15 日までに電子メールで連絡すること（博士後期課程からの参加についても 3 月 15 日までに相談すること）。

選考はメールと面接で行う。希望者は研究計画書をメール添付で提出すること。研究計画書には修士論文のテーマ候補（関心事項）について、(1) 目的・課題、(2) 背景・動機、(3)（可能なら）利用可能なデータ、(4) 主な先行研究、を記すこと。（箇条書きでよい。）

送付先のメールアドレスは、学生便覧又は研究科 HP（VIII. 詳細リンク先を参照）で確認すること。具体的な面接の日時は応募者と個別に取り決める。

V. 指導方針

修士 1 年次はコースワークに集中することが望ましいので、原則聴講のみとする（単位は出さない）。ゼミでは、まず学生の研究希望テーマに関する重要文献を報告してもらい、テーマが決まった後は研究の進捗状況を報告してもらいながら指導を進めていく。理論と実証の両方に興味のある学生を歓迎する。

VI. 博士後期課程学生の履修要件

以下の 3 つの条件を全て満たすこと。

1. 中級ミクロ経済学を A 以上もしくは上級ミクロ経済学を B 以上の成績で履修済みであること。
2. 中級計量経済学を A 以上もしくは上級計量経済学を B 以上の成績で履修済みであること。
3. 中級マクロ経済学を B 以上もしくは上級マクロ経済学を C 以上の成績で履修済みであること。

VII. 共同開講者に関するメモ

経済研究所中川ゼミ、山岸ゼミ、経営管理研究科中島ゼミ及びソーシャル・データサイエンス研究科清水ゼミと合同で行う。

VIII. 詳細リンク先 URL

https://www.econ.hit-u.ac.jp/jpn/page/faculty/professor/profile_fujishima.html